

## ◆ 書籍案内 ◆

山中伸枝著『「なんとかなる」ではどうにもならない定年後のお金の教科書』〔単行本（ソフトカバー）・224ページ、クロスメディア・パブリッシング（インプレス）、本体1280円＋税〕



本紙で「公的年金が民間保険の売り上げを伸ばす！」を好評連載中のF・P・公的保険アドバイザー

―協会理事の山中伸枝さんによる著書。公的保険アドバイザーという立場から国の制度を目一杯活用してムダをなくすと、そして、お金に困らない老後生活を送るために「いくら必要」で「どう貯める」かまでをギュッと1冊にまとめている。また、貯蓄計画のシミュレーションをするための「老後資金計画シート」ダウンロードURLや、巻末付録として「知っておきたい公的保険の相談窓口と主な給付」が掲載されている。

山中さんは「老後の安泰のためには、貯蓄は必須。貯蓄の基本は『ムダをなくし、増やしながらか貯める』。その究極の形が『国の制度』を徹底的に活用すること」と強調。  
【目次】老後貧乏を抜け出すための方程式／老後生活は何にいくらかかるのか？／老後の収入を把握しよう／住居費の見直しは一番の節約／ムダな保険を見直そう／お金の貯め方・増やし方／（巻末付録）知っておきたい公的保険の相談窓口と主な給付